# 令和2年度 学校生活相談センターの相談状況について(7月末現在)

資料 2

心の支援課

## ◆件数・回数の同期比較◆

相談件数 310件 → 331件 (21件 増) 延べ回数 544回 → 444回 (100回 減)

## 1 相談の形態

区分		相談件数	割合	延べ回数	割合
電話	平日昼間	131	39.6%	173	39.0%
	夜間·休日	160	48.3%	222	50.0%
文書	(メール・FAX・手紙)	39	11.8%	48	10.8%
来所		1	0.3%	1	0.2%
計		331	100.0%	444	100.0%

## 2 連携した案件

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
関係機関へ連携した案件	15	4.8%	28	

## 主な連携先(延べ回数)

小中学校(私立含む) 警察関係 6回 0回 高等学校(私立含む) ... 15回 児童相談所 1回 ... こども・家庭課 私学振興課 5回 県教育委員会(教育事務所含む) 0回 市町村教育委員会 1回 2回

## 3 相談者の内訳

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
子ども	113	34.1%	157	35.4%
本人	110	33.2%	154	34.7%
本人以外の子ども	3	0.9%	3	0.7%
大人	211	63.8%	280	63.1%
父	27	8.2%	34	7.7%
母	131	39.6%	174	39.2%
祖父	1	0.3%	1	0.2%
祖母	15	4.5%	19	4.3%
その他の大人	37	11.2%	52	11.7%
不明	7	2.1%	7	1.5%
計	331	100.0%	444	100.0%

## 4 相談対象者の性別

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
男	128	38.7%	181	40.8%
女	133	40.2%	182	41.0%
不明	70	21.1%	81	18.2%
計	331	100.0%	444	100.0%

## 5 相談対象者の学校区分

区分		相談件数	割合	延べ回数	割合
	就学前		1.2%	5	1.1%
	小学生(低学年)	30	9.1%	37	8.3%
小学生	小学生(高学年)	35	10.6%	46	10.4%
	小学生(不明)	11	3.3%	11	2.5%
	中学生		20.2%	85	19.1%
	高校生		40.2%	186	41.9%
その他		33	10.0%	52	11.7%
不明		18	5.4%	22	5.0%
	計		100.0%	444	100.0%

## 6 相談の主訴(全体)

	区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
	いじめ・嫌がらせ	18	5.4%	20	4.5%
子どもに 関すること	不登校・登校渋り	46	13.9%	63	14.2%
127 0 - 2	その他	65	19.6%	93	20.9%
学校・教師に関すること		61	18.4%	71	16.0%
家庭・私生活に関すること		45	13.6%	75	16.9%
意見・問い合わせ		71	21.5%	87	19.6%
その他		25	7.6%	35	7.9%
計		331	100.0%	444	100.0%

## (1) 主訴(子どものみ)

区分		相談件数	割合	延べ回数	割合
	いじめ・嫌がらせ	4	3.5%	4	2.5%
子どもに 関すること	不登校・登校渋り	9	8.0%	14	8.9%
12,70-2	その他	40	35.4%	63	40.1%
学校・教師に関すること		20	17.7%	21	13.4%
家庭•	家庭・私生活に関すること		16.8%	30	19.1%
意	意見・問い合わせ		8.8%	11	7.0%
その他		11	9.7%	14	8.9%
計		113	100.0%	157	100.0%

## (2) 主訴(大人のみ)

区分		相談件数	割合	延べ回数	割合
<b>¬</b> 181 .	いじめ・嫌がらせ	13	6.2%	15	5.4%
子どもに 関すること	不登校・登校渋り	37	17.5%	49	17.5%
	その他	24	11.4%	29	10.3%
学校・教師に関すること		41	19.4%	50	17.8%
家庭	家庭・私生活に関すること		12.3%	45	16.1%
意見・問い合わせ		58	27.5%	73	26.1%
その他		12	5.7%	19	6.8%
	計		100.0%	280	100.0%

## 結果(概要)

- ・相談件数は、前年度同期(7月末現在310件)を上回ったが、延べ回数は前年度同期(7月末現在544回)に比べ減少。1回の相談で終わるケースが多かった。
- ・子どもからの相談は、6月に比べ「いじめ・嫌がらせ」や「その他」の対人関係・友だち関係の相談が増加。学校生活が通常に戻りつつあり、徐々に人とのかかわりの中で起きる友だちとのトラブルなどの相談が増えている。
- ・大人からの相談は、「不登校・登校渋り」の相談が徐々に増加。「休校中、ゲームにはまってしまい学校に行かれなくなっているが親としてどう対応すればよいか」「発達障がいの子どもがパニックを起こし、どう対応すればよいか」など家庭での対応に苦慮し相談を寄せるケースが増加した。